■政治的教養を育む教育の取組
「主権者教育セミナーの実施と授業での振り返り」

◇　ね　ら　い

修得した知識を活用し、主体的な選択・判断を行い、協働しながら様々な課題を解決していくという国家・社会の形成者としての資質や能力を育むために、民主主義の意義や政治そして選挙の正しい理解をとおして、自らの判断で権利を行使することができる生徒を育成する。

◇　内　　容

「主権者教育セミナー」

講師：北海商科大学教授　堂徳　将人様

◇　日　時　等

平成３０年９月１９日（水）３、４校時（本校体育館）

◇　教科・科目等

３学年・政治経済

２学年・現代社会

◇　参 加 生 徒

２年生５２名（２クラス）、３年生４４名（２クラス）

◇　取 組 の 内 容

１　事前の取組

月　日	内　　容
５月１６日（水）	○町議会事務局と打ち合わせを行う。
６月１２日（火）	○明るい選挙推進協会にアドバイザー派遣の打診をする。
６月１４日（木）	○３年生、羽幌町議会の傍聴を嫉視する。
７月　９日（月）	○総務省自治行政局選挙部管理課に派遣申請を提出する。 → ７月１９日（木）派遣決定通知
７月２０日（金）	○堂徳教授と事前打ち合わせを始める。

２　前日・当日の動き

	内　　容
前日	１５：３０～１６：３０　校内研修 ・１８歳選挙権、１８歳成人に向けた学校教育の改善・充実について
当日	９：３０～１０：００　事前打ち合わせ １０：４５～１１：３５　主権者教育セミナー １１：４５～１２：３５　振り返り（授業）

３　実施する上で工夫した点など

(1) 事前指導に向けた共通理解

町長選挙を控え、より身近な選挙について、公民の授業において中立かつ公正な立場から、特定の事柄を強調したり、偏った取り扱いをしないよう教員間の綿密な打ち合わせを毎週行った。

(2) 町議会の傍聴

傍聴できる年２回の議会を主権者教育セミナーと結びつけた。６月の一般質問は３年生全員、１２月の一般質問を２年生全員で傍聴した。傍聴前の授業で「議会」の存在意義や住民自治について学習し、傍聴後には町と議会の関係や町政に対する関心を高めた。

４　生徒の感想

「少子高齢化だからこそ若者世代の投票が将来の日本ために必要だと感じた。」
「これからは自ら問いを立てて探求することに挑戦したい。」
「僕たちが身近な社会に関心を持ち、大切な１票を投じたい。」
「知識がないと正しい選択ができないことを知り、しっかり勉強したい。」
「私たちの世代が必ず投票して未来の日本を支えたい。」

５　成果と課題

・吸収力が高く、特に３年生は「有権者」のプライドを身に付けることができた。
・１１月の町長選挙には、３年生の有権者が全員投票した。
・講演及び町議会傍聴にあたり、町や町民からの期待の高さを感じた。
・学習に対する動機付けにつながり、公民分野に対する関心が高まった。



【講師：堂徳教授】


【真剣に聞く生徒】